



小田 昭彦 住職

「命のつながり」シリーズ第14弾

浄土真宗では、お盆はご先祖様から受け継がれた命や、仏様の教えに出会えたことに感謝する日とされています。ご先祖様を偲ぶこの機会に、生きていくことに感謝し、穏やかに生きるための心の持ち方について、真宗大谷派 等覺寺の小田昭彦住職に話を伺いました。

お盆は「ご先祖様に感謝する日」

お盆とは、お釈迦様の弟子の一人である目連尊者が、餓鬼道に落ちた母親を苦しめから救ったという逸話に由来しています。ある日、目連尊者は「亡き母はどうしているのか」と神通力を使って探してみると、餓鬼道に落ちた母親が苦しんでいました。目連尊者は、目連尊者は母親を救おうと、何度も食事や飲み物を届けますが、母親がそれらを口に入れようとすると燃え上がり消えてしまいます。「どうしたら母を助けられるのでしょうか」とお釈迦様に相談したところ、「インドの雨季に行われる安居の修業が終わった修行僧たちに食事を振る舞い、もてなしなささい」と導かれ、お釈迦様に言われた通り



等覺寺 本堂

「命のつながり」シリーズ第14弾

浄土真宗では、お盆はご先祖様から受け継がれた命や、仏様の教えに出会えたことに感謝する日とされています。ご先祖様を偲ぶこの機会に、生きていくことに感謝し、穏やかに生きるための心の持ち方について、真宗大谷派 等覺寺の小田昭彦住職に話を伺いました。

お盆は「ご先祖様に感謝する日」

お盆とは、お釈迦様の弟子の一人である目連尊者が、餓鬼道に落ちた母親を苦しめから救ったという逸話に由来しています。ある日、目連尊者は「亡き母はどうしているのか」と神通力を使って探してみると、餓鬼道に落ちた母親が苦しんでいました。目連尊者は、目連尊者は母親を救おうと、何度も食事や飲み物を届けますが、母親がそれらを口に入れようとすると燃え上がり消えてしまいます。「どうしたら母を助けられるのでしょうか」とお釈迦様に相談したところ、「インドの雨季に行われる安居の修業が終わった修行僧たちに食事を振る舞い、もてなしなささい」と導かれ、お釈迦様に言われた通り

修行僧たちに食事を振る舞ったそうです。施しを実践すると、餓鬼の世界から母親が救われたことから、お盆行事が始まったと言われています。

浄土真宗では、お盆のことを「歡喜會」と言います。亡くなられた人を供養するという考えではなく、ご先祖様を「ご縁」として仏法を聞かせていただき、今自分たちがいるのは「ご先祖様がいるおかげ」と感謝して自分の生き方を見つめ直し、命の喜びをいただく行事として捉えられています。

浄土真宗の宗祖は親鸞聖人です。浄土真宗は「聞法の宗教」と言われています。仏法を聞くことを何よりも大切にしています。仏法を聞くことで自分たちの拠り所を見つけ、救われていくという教えです。

とはいえ、限りある命の中で、限りない欲を満たすから仏法を聞こうと

「命のつながり」シリーズ第14弾

浄土真宗では、お盆はご先祖様から受け継がれた命や、仏様の教えに出会えたことに感謝する日とされています。ご先祖様を偲ぶこの機会に、生きていくことに感謝し、穏やかに生きるための心の持ち方について、真宗大谷派 等覺寺の小田昭彦住職に話を伺いました。

お盆は「ご先祖様に感謝する日」

お盆とは、お釈迦様の弟子の一人である目連尊者が、餓鬼道に落ちた母親を苦しめから救ったという逸話に由来しています。ある日、目連尊者は「亡き母はどうしているのか」と神通力を使って探してみると、餓鬼道に落ちた母親が苦しんでいました。目連尊者は、目連尊者は母親を救おうと、何度も食事や飲み物を届けますが、母親がそれらを口に入れようとすると燃え上がり消えてしまいます。「どうしたら母を助けられるのでしょうか」とお釈迦様に相談したところ、「インドの雨季に行われる安居の修業が終わった修行僧たちに食事を振る舞い、もてなしなささい」と導かれ、お釈迦様に言われた通り

「命のつながり」シリーズ第14弾

浄土真宗では、お盆はご先祖様から受け継がれた命や、仏様の教えに出会えたことに感謝する日とされています。ご先祖様を偲ぶこの機会に、生きていくことに感謝し、穏やかに生きるための心の持ち方について、真宗大谷派 等覺寺の小田昭彦住職に話を伺いました。

お盆は「ご先祖様に感謝する日」

お盆とは、お釈迦様の弟子の一人である目連尊者が、餓鬼道に落ちた母親を苦しめから救ったという逸話に由来しています。ある日、目連尊者は「亡き母はどうしているのか」と神通力を使って探してみると、餓鬼道に落ちた母親が苦しんでいました。目連尊者は、目連尊者は母親を救おうと、何度も食事や飲み物を届けますが、母親がそれらを口に入れようとすると燃え上がり消えてしまいます。「どうしたら母を助けられるのでしょうか」とお釈迦様に相談したところ、「インドの雨季に行われる安居の修業が終わった修行僧たちに食事を振る舞い、もてなしなささい」と導かれ、お釈迦様に言われた通り

すべては、故人様とご遺族様からの『ありがとう...』のために

私は、これまでたくさんの出会いの中で、1つでも無駄だったと思える出会いはありませんでした。出会いの中で、学び、教わる事を繰り返して、是非返さなければ...」その思いを貫き、エンディングプランナーとして、これまで故人様が生きてきた証をご遺族様と共有し、この世に残された者同士、「死」と向き合いながら葬儀という伝統文化の継承に努めていきたいと考えております。 合掌 代表 福田 雅典

厚生労働省認定 株式会社 メモワールしおん 24時間対応

☎029-862-3905 土浦市大畑689-10

やすらぎのお墓づくりをお手伝い

下地は「石張り」なので草取りいらず! 入り口の段差がない

100万円(税込)

お墓の改修・リフォーム承ります!

国内・外国産 輸入製造販売 (株)佐藤石材店 ☎029-889-0145

御仏壇

日本の銘木を存する手作りの御仏壇や家具の修理承ります

創業昭和6年 尾張屋

☎0120-300-629 ☎029-823-0527

落ち着いた雰囲気ゆとりあるホール

ご見学・お見積り お気軽にご連絡ください

事前相談随時受付中

故人との最期のお別れに際し、悔いの残らない「良い」ご葬儀をお手伝いさせていただきます。

365日・24時間対応

JA谷田部つくばホール ☎0120-36-0983

8月28日(水) 夏の御祈禱 万灯会

秘佛本尊御開帳 不動明王御祈禱大祭

奉納納涼落語会

お焚きあげ

北関東不動尊第三十二番札所 筑波山 一乗院

心をつなげる 最高級の贈り物

お盆 特別セール 開催中

福岡県八女提灯を大量展示

お盆 特別セール 開催中

お仏壇のすずぶん

TEL:029-822-0312

土浦キララまつり2019 8月3日・4日

安心・安全まちづくりパレード ◆音楽隊パレード ◆七夕おどりコンテスト ◆市民山車等巡行 ◆観光帆船船合同操業 ◆土浦新郷土民謡おどり

半世紀以上の歴史を持ち、例年15万人の人出でにぎわう伝統の夏祭り。「七夕おどり」「市民山車等巡行」を中心に、霞ヶ浦湖上での観光帆船船合同操業や遊覧帆船船会など、多彩な催しが繰り広げられる。

問い合わせ/土浦キララまつり実行委員会事務局 ☎029-824-2810

第38回 うしくかっぱ祭り 7月27日・28日

河童ばやし踊りパレード ◆商みこし・上町山車巡行 ◆演奏&ダンスパレード ◆うちわ抽選会 ◆よさこい囃子踊りパレード

最大の目玉は「河童ばやし踊りパレード」。メイン会場の花水木通りを、2日間で約1万人の踊り手が華やかに練り歩く。総勢300人以上が群舞を繰り広げるよさこい囃子踊りパレードも見もの。

問い合わせ/うしくかっぱ祭り実行委員会事務局 ☎029-874-5554

夏の風物詩 夏祭り 2019

第32回 あゆみ祭り 7月14日

吉本お笑いライブショー ◆カヌー体験 ◆Eポートレース ◆よさこいソーラン大会 ◆帆引き船の合同操業 ◆湖上打ち上げ花火

ステージでは踊りや演奏、広場では各種ブースの出店。湖上では、観光帆船引き船の合同操業やEポートレースと多くの催しが行われる。湖上打ち上げ花火が夜空を彩り、フィナーレを飾る。

問い合わせ/第32回あゆみ祭り実行委員会事務局 ☎029-897-1111

荒川沖のまつり 7月13日・14日

東の夏祭り 午後6時~同9時15分

西区祭礼 午後5時~同10時

子供みこし・山車巡業 山車と神輿の競渡 DOHLEI産による催し物

荒川沖の外壁塗装専門店 株式会社コバヤシ塗装

大衆居酒屋 マルハチ商店

ランチ750円~